

有限責任中間法人日本漢方交流会ニュース

金

匱

No.31

編集 日本漢方交流会広報委員会

発行 日本漢方交流会事務局 香川県仲多度郡琴平町225 TEL 0877-58-8581 FAX 0877-58-8583

日本漢方交流会ホームページ <http://www.kanpou.com/>

(慢性、難病フォーラム第3回の会場風景↑)

日 時 平成 17 年 5 月 29 日(日)
 時 間 10 時 30 分 ~ 16 時 30 分
 場 所 大阪チサンホテル
 テーマ 「高齢化社会における五臓六腑の本治療」

日本漢方交流会 学術部主催

“慢性、難病フォーラム第3回” 満員御礼

学術部 須藤朝代

陽光に恵まれ、平成17年5月29日(日)チサンホテルに於きまして、第3回慢性、難病フォーラムが無事盛会裡に終了致しました。

現在の高齢化社会に対応するべく、又、来局する年代層は、御高齢者が多数という事もあり、テーマを『高齢化社会における五臓六腑の本治療』と致しました。現場で、直ちに役立つ実践力を身に付ける為に、講演者と、交流会での経験の長い先生方に、漢方の基礎理論を踏まえて、御経験に基づいた御講演を賜り、又、話題提供者の先生方との質疑応答で研鑽致しました。

受付は午前10時からでしたが、皆様気合いに満ちて、1時間も早い9時頃より受付を済まされた方もいらっしゃり、又、南は鹿児島、北は新潟より多くの方に御参加頂きました。今回は漢方交流会の新会員を増強する意味合いもありましたので、薬科大学、大学薬学部にもフォーラムの案内を差し上げ、又関西地域及び三重県の薬剤師会のホームページや広報誌にも、御厚意でフォーラム案内を掲載させて頂きました。その甲斐がありましたのか、交流会会員以外の参加者に多数御参集頂きました。10時30分より16時30分までの長時間に及ぶフォーラムでしたが、途中退席する



方もなく、午後から遠路駆けつけて下さった会員先生、他の勉強会のかけ持ちで、残りの 1 時間の為だけに参加して下さいました先生、事情で出席出来ないのに、参加費をお送り下さった先生、様々な先生方の御厚意を持ちまして、盛大なフォーラムを開催させて頂くことが出来ました。又、御多用の中、御無理を御願いし、基調講演を頂きました中田敬吾先生、林誠一先生、真鍋立夫先生、話題提供の 5 人の先生方、その話題に対する的確なアドバイスを頂きました中井康雄先生、西脇平士先生、広中隆志先生、この様な指導的なお立場の先生方の御協力で、参加頂きました会場の方には、御満足頂けた様です。



会場の質問風景 ↑

フォーラム終了後のアンケート回答によりますと、「このフォーラムから得る物がありましたか」の設問に対して、99%の参加者が「あった」とお答え下さいました。

主催者にとりましては、これ程の評価を頂けますとは想像も致しておりませず、肩の荷を下ろすことができました。会場が狭すぎ、又討議の時間が少なく、御迷惑をお掛け致したようです。皆様方のアンケートを参考に、再検討し、来年もよりよいフォーラムを開催致したく準備させて頂きます。詳しい第 3 回の慢性、難病フォーラムの報告とアンケート集計結果は、後日の玉函に掲載致します。御参加頂きました方々、御協力頂きました先生方に、この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

第 3 回 慢性、難病フォーラムに参加して

神 川 秀 子

東京漢方研究センターに入会して 3 年、スタートが東京大会で、全国大会には毎回出席させて頂いています。慢性、難病フォーラムは専門家の方々の集まりのようで、気後れしておりましたが、今回思い切って参加させて頂きました。仕事の都合で 5 月から、山形県在住となり、飛行機で会場に行きましたが、午後の到着となってしまいました。

会場に着きますと、席に着けない方もいらっしゃるくらい熱気に溢れて、満席状態でした。私は運良く座らせて頂き、ちょうど私の所属しております東京漢方の越智先生の発表に間に合いました。PTSD・トラウマに関するお話と、事前にお伺いしていましたので、楽しみにしておりました。

漢方に興味を持ちましたのは、私が小学校の時、耳鼻科で手術が必要と言われた副鼻腔炎が、漢方薬で治ったからです。子供心にも素晴らしいなと思いました。その後、高校 3 年の時母を亡くしましたが、その際、入院していた大学病院の対応には、患者の心をあまり配慮していないものを感じ、不満に思いました。病気の部位だけを見るのではなく、患者をトータルの人格として扱うべきではと感じました。大学は、東京理科大学の薬学部に入學しまして、そこで長沢先生の生薬学の授業を拝聴して、漢方には「気」という概念があるので素晴らしいと思い、卒研時には長沢研究室にお世話になりました。当時、卒研は研究室の漢方薬を何でも飲んで良く、私が選びましたが、柴胡加竜骨牡蠣湯で、何と今回、越智先生の処方にも登場しています。自分が神経質なので選んだ薬ですが、当時の私には本当に良く効いて、飲むと不思議に気持ちが明るくなりました。学生の身ですので、漢方の知識はほとんどなく、とりあえず科学的に処方を分析しようと思ひまして、構成生薬を検討しました。思い当たりましたのが、竜骨と牡蠣でした。両者ともカルシウムが多く含まれています。当時、カルシウムが、イライラや神経衰弱に効くと注目され始めていました。中国の人は何千年も前に分かっていたなんて、スゴいなあと感心しました。私の話はさておき、越智先生は鬱病の治療に使用される S S R I の副作用の話題にも触れられ、この事は、去年の理科大の卒後勉強会で聞いて、私が気になっておりました事でしたので、非常に興味深く聞けました。今後、精神を病む方は増えると思われませんが、私がカルシウム不足に気付いたように、意外に食生活の改善で治る病気も多いのではないのでしょうか？この事は他の先生も発表していらっしゃいましたが、素人の私には難しいお話も多く、理解出来ない事も多くありましたが、今後とも出席して、少しずつでも理解出来るようになりたいです。



第38回日本漢方交流会学術総会 広島大会のご案内

開催期日：平成17年11月19日・20日 土曜日・日曜日
 開催会場：19日午前中＝広島大学医学部・広仁会館及び薬用植物園
 19日午後～20日＝広島県薬事衛生会館 広島市中区富士見町11番42号

大会テーマ **心と身体(からだ)と漢方**
 大会スローガン **博采衆方＝治療に役立つものを全て取り入れる**
 会 頭：山崎 正寿 実行委員長：吉本 悟

事務局住所：連絡先：〒735-0029 広島県安芸郡府中町茂陰1-3-12 薬王堂
 電話またはファックス→(082)286-9557
 e-mail → hirokanken@yahoo.co.jp

19日進行予定

	10:00	11:15	12:00	1:45	2:00	2:45	3:30	4:15	4:30	4:45	5:00	5:25	5:30	6:30
	市民公開講座 神田博史先生 広島大学医学部 薬用植物園	休憩	会員発表	会員発表	会員発表	会頭講演 山崎正寿先生 広島漢方研究会副会長 聖光園野野野野所長 広島診療所所長	会員発表	会員発表	会員発表	会員発表	会員発表	休憩	懇親会 広島ワシントンホテル	

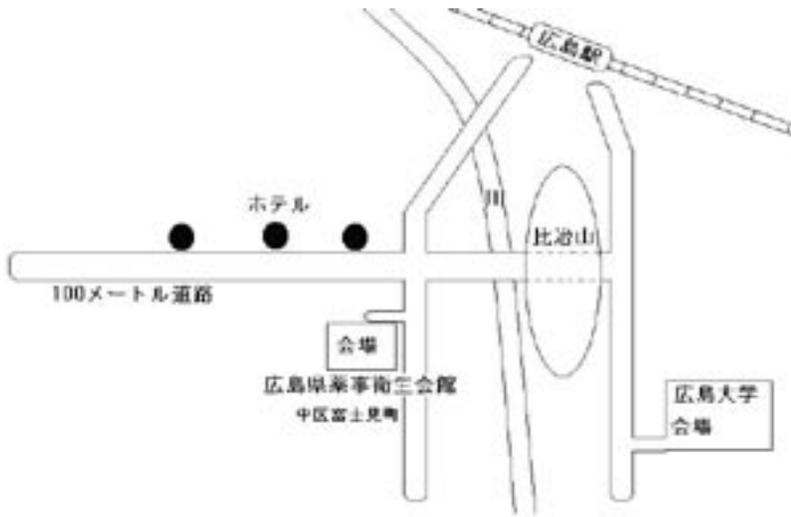
20日進行予定

	9:00	10:20	10:30	10:55	11:20	11:25	12:25	1:30	2:30	2:40	3:05	3:30	3:55
受付開始	総会	会員発表	会員発表	教育講演 岡村信幸先生 福山大学薬学部教授	昼休み	シンポジウム 中井康雄先生 中井康雄先生 金沢大学薬学部教授 御影雅幸先生 広島木村神経内科クリニック院長 木村通広先生 聖光園京都野野野野所 中田敬吾先生	会員発表	会員発表	閉会の挨拶				

日本漢方交流会会員の皆様、こんにちは！

この 11 月に第 38 回日本漢方交流会学術総会・広島大会を開催するにあたりまして準備委員会を結成したのが昨年 12 月でした。その後、準備委員会を重ね今回は広島大学薬用植物園の神田博史先生、福山大学薬学部の岡村信幸先生、金沢大学薬学部の御影雅幸先生と大学関係の方々をはじめ、京都細野診療所の中田敬吾先生、神経内科クリニックを運営される木村進匡先生、会頭の山崎正寿先生と日本漢方交流会元理事長を努められた中井康雄先生を講師としてお招きし開催することになりました。

神田先生には薬草についてお話していただいた後に広島大学の薬用植物園を利用し目で見て



会場の地図↑

触れる市民公開講座を計画いたしております。岡村先生には精神科領域で使われる薬草のお話しを、山崎先生や中田先生、それに木村先生にはドクターの立場で精神科領域の漢方薬をどのように使うか、御影先生には世界の舞台でどのように薬用植物が利用されているのか、現場で漢方薬を扱ってこられた中井先生には我々薬剤師がどのように漢方薬と接するのか、というような内容でお話ししていただく予定です。シンポジウムでは皆さんとも意見を交換して討論をしていただきたいと思います。

その他、日本漢方交流会を構成する 12 漢方研究会を中心に会員発表をしていただきます。上記の進行予定は最終決定ではありませんが二日に亘ってお集まりいただくわけですから参加されます方々にとって有意義な大会になるよう準備いたします。

昭和 43 年に第一回学術総会が行われましたのも当地＝広島と聞いております。日本漢方交流会 38 年間の歴史に恥じないよう広島大会準備委員一同は頑張っておりますのでぜひご参加ください。

大会参加・懇親会参加・ホテル予約に関しては時期を見ながら書類を送付いたしますが 9 月末日ごろに一括して皆様のお手元に届くよう考えております。その時には何卒よろしくお願ひ申し上げます。

広島漢方研究会及び大会事務局：吉本

※事務局との連絡は上に書いておりますが電話か e-mail を使用して下さい。

▶▶ 広報担当からのお知らせ

- 日本漢方交流会ホームページに会員専用のページを作成しております。パスワードは **kain** でお入りください。とりあえず理事会の報告などをこのページでさせていただきます。

平成 17 年 8 月編集

あなたを悩ます脂肪過多に…
天然の生薬が応えてくれます。

**体の新陳代謝を活発にすることにより
余分な脂肪を落としていく生薬で作られたクスリです。**

効能・効果／脂肪過多症

サイコ・チョレイ・ボタンピ
シャクヤク・ダイオウ
カンゾウ・ハンゲ
タクシャ・ケイヒ
ショウマ・ショウキョウ

取扱い医療用漢方製剤
45処方
KTS35 TM10
(医薬品)

大正の時代から服み継がれてきた、漢方の老舗

たてばやし・しょうかくどう
〈全国の薬局、薬店にてお求め下さい〉
<http://www.kanpou-tatebayashi.jp>

上野本店 〒110-0015 東京都台東区東上野4-3-1
TEL 03 (3843) 3831 FAX 03 (3842) 4473
東京営業所 〒335-0024 埼玉県戸田市戸田公園3-7
TEL 048 (441) 4261 FAX 048 (443) 0959
大阪出張所 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1-16-19
TEL 06 (6942) 0049 FAX 06 (6942) 0089
福岡出張所 〒815-0042 福岡市南区若久6-1-25
TEL 092 (541) 8611 FAX 092 (541) 8600
札幌出張所 〒062-0903 札幌市豊平区豊平三条1-1-34
TEL 011 (825) 9934 FAX 011 (825) 9937